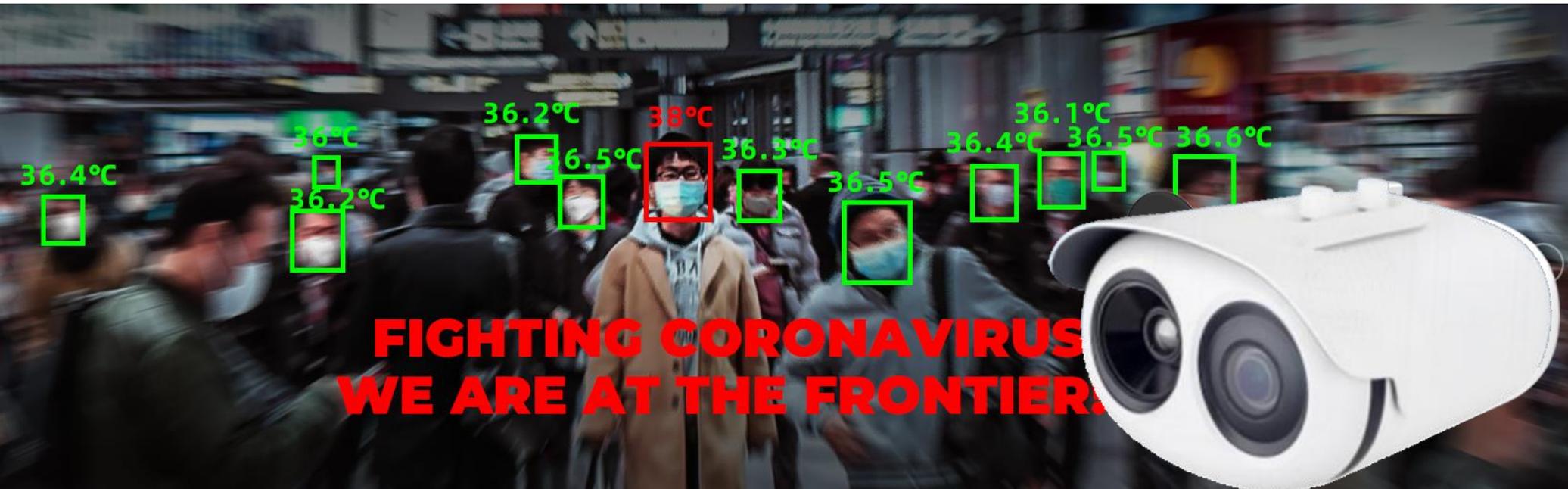


# 体温表示システムのご提案

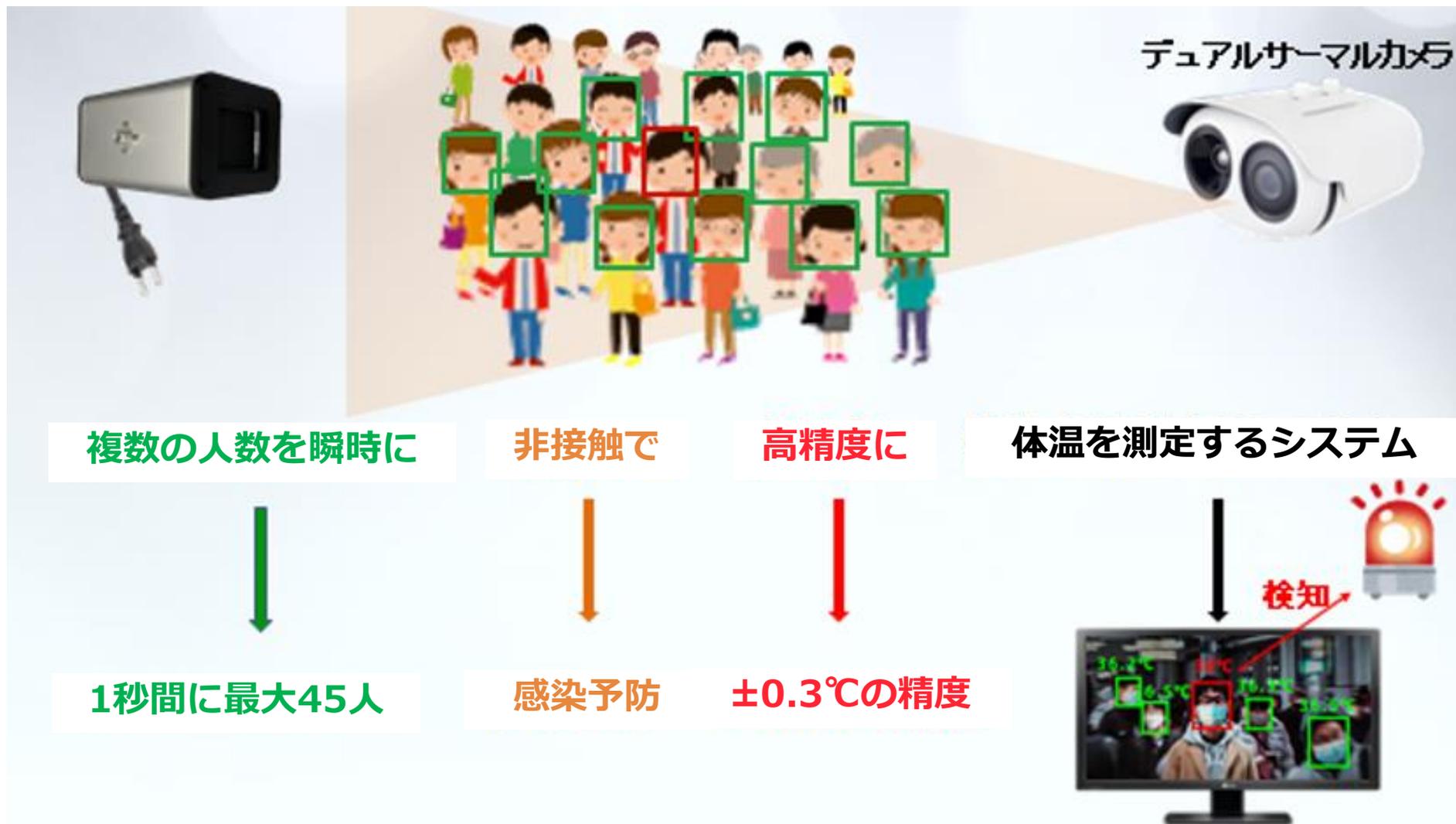
Face temperature indicate system



2020年6月

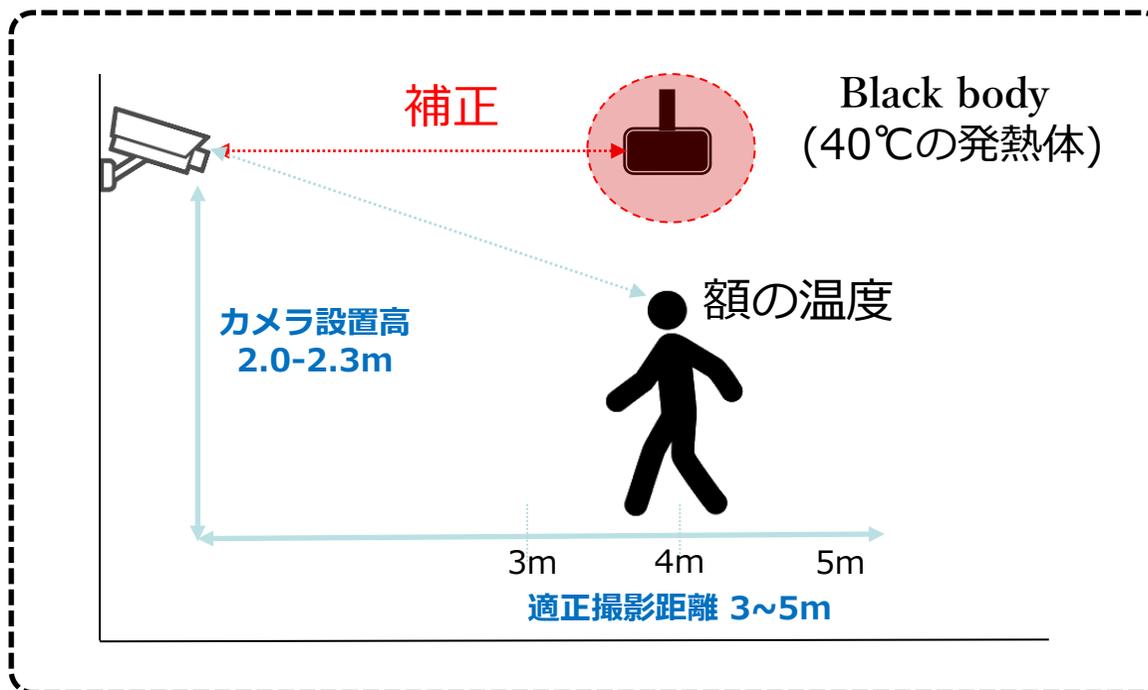
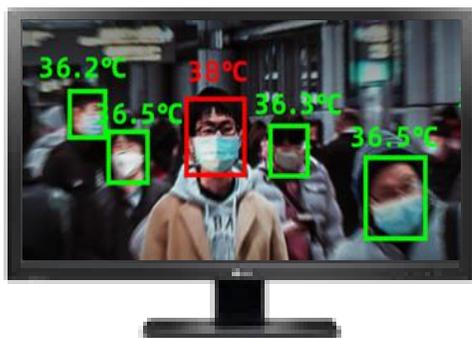
株式会社エフォートシステム

# 1. 体温表示システムの紹介



## 2. システムの概要

### デュアルサーマルカメラ



- ① AIは、サーマルカメラによるBlack bodyの温度測定値を基に、当該環境における誤差を計算
- ② AIは、CCTVの映像をもとに顔を検出(人を検知)
- ③ サーマルカメラにより額の温度を測定
- ④ AIは、額の温度に対し、①の環境誤差を補正して画面に測定結果を表示(精度 $\pm 0.3^{\circ}\text{C}$ )
- ⑤ AIは、1秒間に45人の処理能力を有している
- ⑥ 設定したアラーム温度を超えた人物を検知した場合は、画面赤枠表示、アラーム録画、メール配信(メッセージ+静止画)機能により運用者へ通知

#### ① 非接触

ハンディータイプの測定器では精度確保のために1m以内の測定が必要であり、測定者及び被測定者共に感染の危険性が有る。

#### ② 高精度

AIの搭載により、設置環境により生じる誤差を補正し、医療用体温計の測定値に対して $\pm 0.3^{\circ}\text{C}$ の精度を確保している。

#### ③ 瞬時に測定エリア内の多数を計測

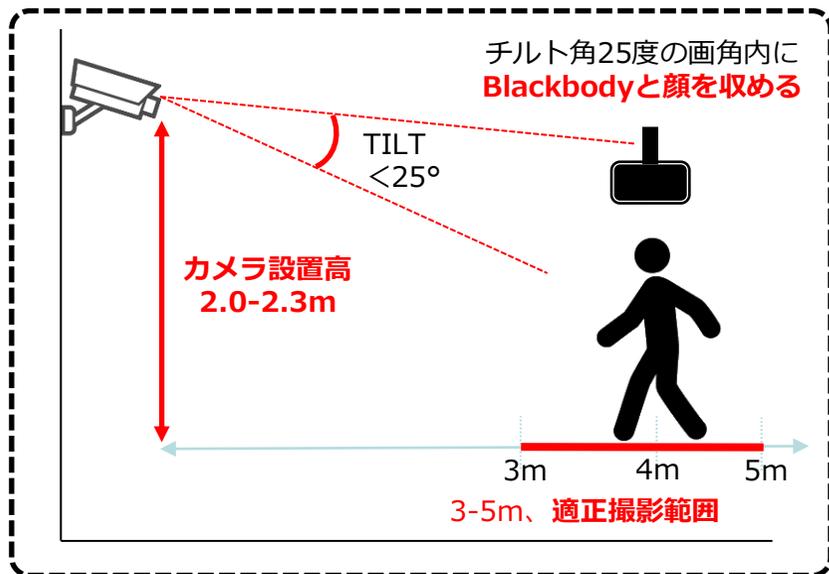
AIのもつ1秒間に45人の処理能力により、同時に多人数の測定を可能とし、ハンディータイプの一人ずつの測定のような被測定者の動線の滞留を生じない。

#### ④ アラーム機能で自動判定

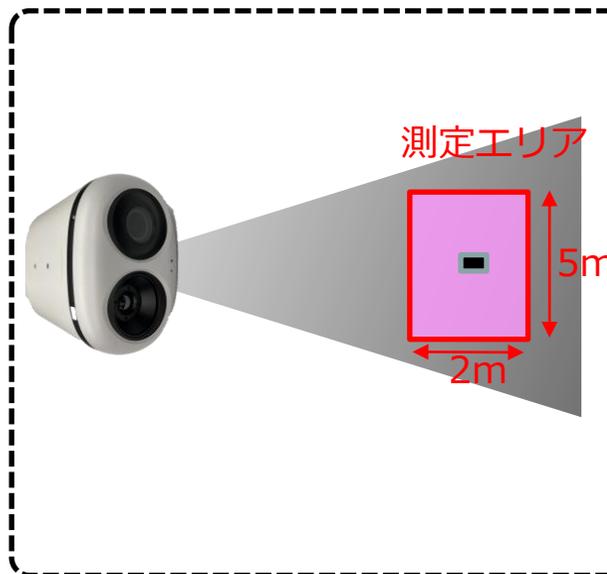
アラーム温度の設定により、発熱者の自動検知及び通知が可能。  
接点出力機能を有するので、パトライト点灯等、他のシステムとの連携も可能。

## 精度を確保するための運用要領

### ①適切な測定環境の設定



### ②測定エリアへの誘導



### ③カメラを向かせる

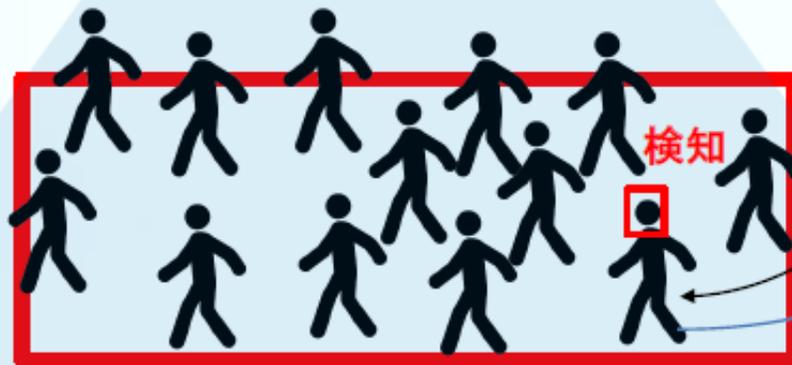


屋内運用が原則

# 5. システム運用イメージ

当施設は、お客様の健康管理のため、入場者の体温を測定しております。  
ご入場の際は、脱帽のうえ、正面の撮影エリアにお進み下さい。  
撮影エリアでは、額を出して、顔をカメラに向けて下さい。  
当施設では、体温37.5℃以上のお客様のご入場をお断りする場合がございますので、予めご了承下さいませ。

動線



測定状況のモニター



常時監視

発熱者へのお声がけ



再測定等



# 6. オペレーション比較

【ハンディーによる計測】



【体温表示システム】



オペレーション	動きながらの測定は困難 移動～停止～測定～確認～次へ移動	低速なら移動中測定が可能
計測速度	5秒/人	0.02秒/人 (45人/秒)
計測オペレータ	計測レーン数に応じた人員が必要	計測エリアに1名程度

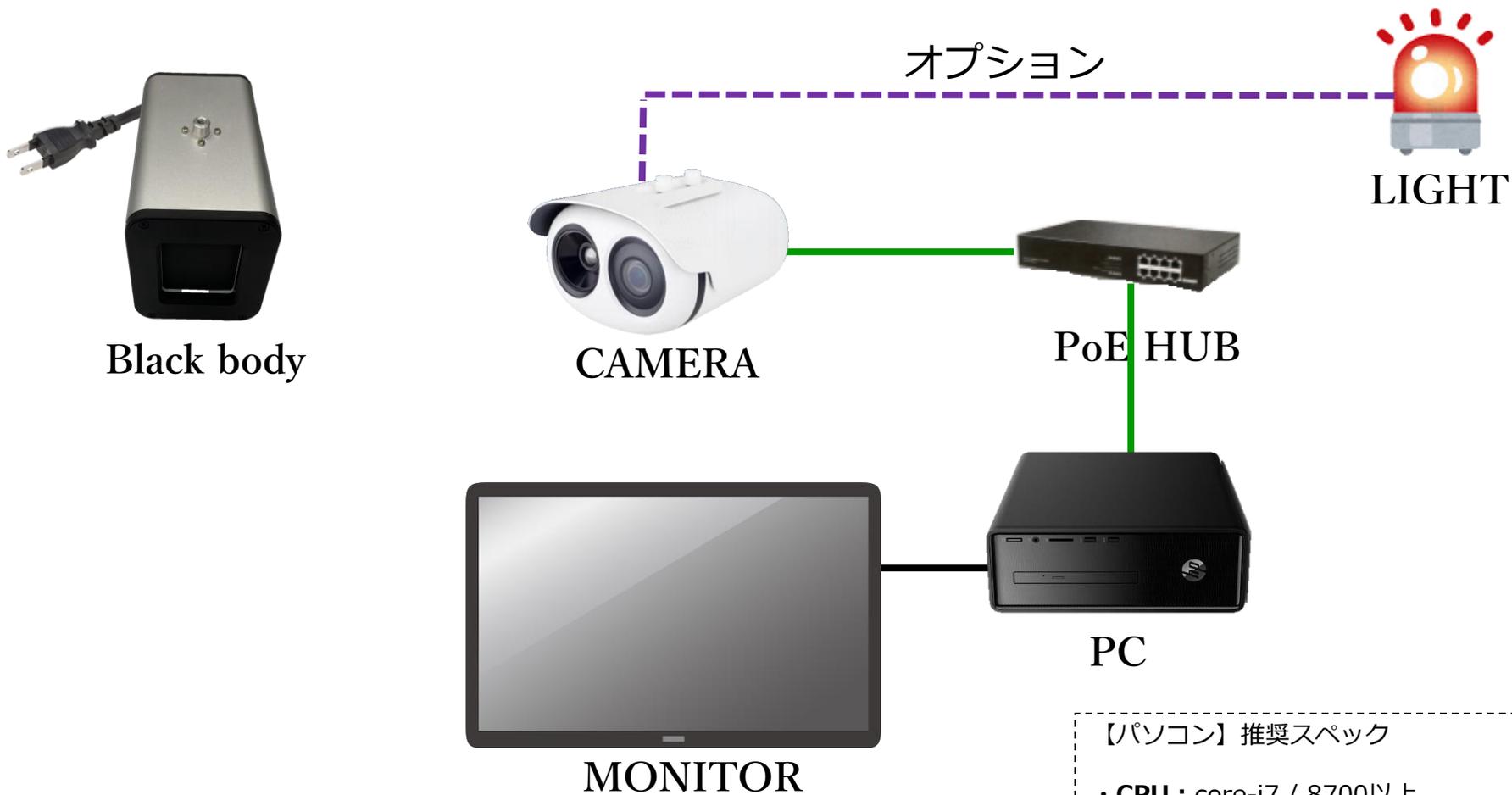
少ないオペレータ数

1秒間に最大45名

移動者でも瞬時に測定

本システムは、通過量の多いシチュエーションに最適

# 7. システム構成



- 【パソコン】推奨スペック
- ・CPU : core-i7 / 8700以上
  - ・メモリ : 8GB以上
  - ・HDD容量 : 録画設定期間による
  - ・グラフィックボード : GTX-1080以上

株式会社エフォートシステム 営業部

〒730-0845

広島県広島市中区舟入川口町21-7

電話:082-503-6222 FAX:082-503-6223

<http://www.eft.co.jp>

担当：吉岡 寛人

E-mail:[yoshioka@eft.co.jp](mailto:yoshioka@eft.co.jp)